

平成18年度「専修学校社会人新キャリアアップ教育推進事業」
成果報告書

事業名	「CADパターンメイキング・グレーディング スキルアップ・専門技術習得コース」		
法人名	学校法人 文化学園		
学校名	文化服装学院		
代表者	理事長 大沼 淳	担当者 連絡先	井手口 和子 TEL03-3299-2231

1. 事業の概要

現在、アパレル業界のパターンメイキングも、コンピューターを用いた方法、CAD,CAMに基軸を移しており、熟年者は、パターン経験は豊富であるが、操作ができないため制限が生じているのが現状である。

また、女性が子育て等で就業を一時中断した場合も、CADをマスターしていると在宅勤務も可能となり、継続して技術・能力を発揮する場を得ることができる。その他、現在中断を余儀なくされている人も、再チャレンジのチャンスが大と思われる。
この現状を踏まえ講座を開講した。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

熟年者や再チャレンジ者のパターン知識・技術・経験を、コンピューター(CAD)を1つの道具として使いこなす事によって、より作業能率がよくなるとともに、業界内での効率の良さを理解することで、前向きに学ぶ意欲を導く事が出来たと感じる。

②事業により得られた成果

知識・経験・ニーズの異なる受講者が、講座終了後に即活用できるよう、学習教材選びに配慮した。

初段階では、各人の力量を推し量る意味も含め、各人が用意したパターンを使用し基本操作の概要を掴んだ。

その後、マスターパターンを使用し展開を行なったが、その際のデザインや展開手順・手法は、各人がパターンを手書きする際の順序(各人の癖)に即す形で指導を行い、CADを鉛筆代わりの道具として使いこなせるよう配慮した。また、コンピュータソフトの機能を活用することで、手書き順序よりも効率的な点も十分説明し、CAD活用法への理解を深めた。

また、コンピュータ上でデザイン展開したパターンを、実際にトワルで組み、形出しする実習を実施。経験からくる勘や、熟練の手の動きによる手書き線とコンピュータのそれとの差異を検証。より、完成度の高いパターンづくりを目指した。
その他、実際の業務の流れや各人のニーズに対応した項目を網羅し、時間の許す限り反復練習を行なった。

③今後の活用

高価なソフトを購入し、フリーでやっ払いこうしている受講生が見受けられた。

今回講座で使用したテキストは、東レACS(株)の厚意により、家で受講生が復習するのに使用できるのみではなく、実際の職場で操作に困った際に紐解けるような内容のものを用意した。また、講座中に各人が作成したパターンや仕様書などはもちろん資料として持ち帰り、各人が独自のマニュアルを作成できるよう配慮。よって受講生は、独自のニーズに合わせて、今回の学習内容を活用することができると思われる。

また文化服装学院としては、この事業を出来れば数年継続し、日本のアパレルの遅れを示唆し、経験豊富な熟年者や、就業の中断を余儀なくされた人々の豊富な経験や技術を生かす道を拓くとともに、元となる技術力の尊さを訴え、ものづくりを目指す人々の可能性を広げていきたい。

また、技術者という枠組みの中で世代間が交流する場を設けることで、後輩たちにも良きアドバイスが出来ると思われる。

④次年度以降における課題・展開

(今後の課題、改善点など)

・現在、日本のアパレル業界で使用されているCADソフトは、ニット素材に特化したもの等含め、主なものでも3~4種類ある。他のソフトの導入も考え、これからの事業にどう取り入れるか考慮したい。

・約1ヶ月にわたる講座だったため、日程的要因で申し込みを断念した方も見受けられた。
また、昼間・夜間部をもつ弊学院では現在空き教室がなく、今回の講座開催においても、授業用資料等が保管されている教員研究・準備室の資料を他教室に分散、残りを片隅にまとめ、資料の出し入れを本講時間外で行なうこととし、必要なコンピュータ機材等一式をレンタル・設置し行なった。

このような物理的問題も考慮し、次回以降は、受講対象者のニーズや技量を絞り、時間・日程を区切り、数種のバリエーションをもって展開することも考慮したい。

3. 事業の実施に関する項目

①キャリアアップ講座の実施

②その他